

ふっさ市議会だより



No.220 令和2年8月1日 発行/福生市議会
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表) ☎042(551)1523(直通)



▲リニューアルし、「ネッツ多摩S&Dフィールド」としてオープンした市営競技場

令和2年第2回定例会
6月2日~4日
令和2年第1回臨時会
7月27日

新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算等を可決・承認

令和2年度一般会計補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ補正予算について審議し、それぞれ全会一致で可決・承認されました。
※詳細を7面に掲載しています。

一般会計補正予算 (第1号)	補正額 58億7,382万1千円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●特別定額給付金給付事業… (57億9,990万5千円) ●子育て世帯への臨時特別給付金給付事業… (6,354万6千円)
一般会計補正予算 (第3号)	補正額 3億9,043万4千円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校ICT推進事業… (1億4,974万9千円) ●生活困窮者自立支援事業… (1,978万円)
一般会計補正予算 (第4号)	補正額 7,514万5千円
	●事業継続応援金給付事業の申請増加に伴う予算増額
一般会計補正予算 (第5号)	補正額 4億8,951万1千円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世帯応援キャッシュバック事業… (1億2,253万6千円) ●高齢者感染症対策事業… (6,600万円)

令和2年第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、会期を短縮し、6月2日から4日まで、3日間の会期で開催されました。
加藤市長より4期目の就任にあたっての発言があり、その後、専決処分報告、条例の制定及び一部改正、新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算など、市長提出議案30件、委員会提出議案1件が審議されました。
一般質問は、13名の議員により行われました。
市民から提出のあった陳情2件は、建設環境委員会、市民厚生委員会それぞれ審査され、1件は採択、1件は継続審査となりました。
また、7月27日に臨時会が開催され、専決処分の報告及び新型コロナウイルス感染症対策に係る追加の補正予算並びに委員会提出議案について審議されました。

27日	21日	20日	16日	14日	9日	6日	▼7月	19日	12日	5日	4日	3日	2日	▼6月
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会	議会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	議会	議会	総務文教委員会	第2回定例会3日目	第2回定例会2日目	第2回定例会1日目	建設環境委員会
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	議会	議会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	市民厚生委員会
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	議会	議会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	横田基地対策特別委員会	市民厚生委員会

◆会議の開催状況と審議日程◆

◆ 主な内容 ◆
◆一般質問(要旨) …… 2~4面
◆議案の審議結果 …… 5面
◆可決等された案件 …… 6面
◆令和2年度一般会計補正予算の概要 …… 7面
◆総務文教委員会現地視察 横田基地対策特別委員会… 8面

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

今定例会では、13名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しています。会議録は7月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

加藤市長の4期目の市政運営について



正和会
杉山 行男 議員



質問 加藤市長の4期目が始まった。大きな変革と決断の時期だと思うが、市政運営について所見を伺う。

市長 まちづくりを進める上での主な課題として、①新型コロナウイルス感染症対策、②定住化対策における子育て支援施策、③福生駅周辺整備事業が挙げられる。福生市総合計画（第5期）も始まり、様々な施策を着実に推進するため、私、市職

員はもとより、議員、市民の皆様と「チーム福生」で取り組みたい。

横田基地内の新型コロナウイルス感染症対策等について

質問 市の要請等の取組、基地の感染症対策状況及び感染者の発生状況について伺う。

市長 3月27日、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から迅速で万全な措置と情報提供、感染

者発生時の通報を要請。その後米国防総省が基地別の感染者数等の非公開の方針を示したため、速やかな情報提供を改めて要請。対策状況では4月7日に公衆衛生非常事態宣言が発令、入門時の検査や任務外の移動制限等が行われている。感染状況は、4月28日及び5月7日に他基地所属の海軍兵に感染を確認。隔離対応の上、既に全員が基地を発っている。



▲福生市総合計画(第5期)

新型コロナウイルス感染症対策等、災害時の避難所及び長期避難所について



自民党福生
町田 成司 議員



質問 昨年の台風第19号での課題の検証は。また新型コロナウイルス感染症流行下の避難所の感染対策や、避難が長期化した場合の対策は。

市長 台風第19号での市民や市職員からの意見をもとに庁内で検証。初動対応を円滑に進めるマニュアル作成や防災行政無線の戸別受信機の追加配布等、これまでの対策に積み増す。新型コロナウイルス流行下の

避難所運営は国からの通知に基づいて対応する。避難の長期化には、被災者の社会秩序維持のため、都と協力し被災住宅に関する対策を進める。

事業者に対する支援について

質問 自粛要請での休業など、中小企業や小売店に対するの支援策は。

市長 市独自の緊急支援策として、福生市中小企業振興資金融資制度で

当分の間、据置期間を6月以内から12月以内に延長、運転資金の利用上限も1千万円から1500万円に引き上げた。また、中小企業診断士による支援相談を実施。さらに国や都または福生市からの支援や融資を受けた事業者に10万円を給付する福生市事業継続応援金給付事業を今議会に上程する。また、国の融資に必要な認定書の発行に遅滞なく対応している。



▲福生市事業継続応援金給付事業のポスター

PCR検査と軽症者の対応について



公明党
原田 剛 議員



質問 新型コロナウイルスのPCR検査で陽性反応だが軽症である場合、どのように対応しているか。

市長 陽性の場合、医師により入院が必要かどうかの判断がされ、都では入院治療の必要がない軽症者や無症状者は、家庭の事情で自宅療養を選択せざるを得ない場合を除き宿泊療養を基本とし、都が用意したホテルなど宿泊施設で療養し、健康観

察等を行っている。自宅療養となった場合は保健所等によるフォローアップがなされている。なお、検査結果が陰性であっても体調のすぐれない方は、かかりつけの先生方に引き続き診ていただくことになる。

予防接種について

質問 乳児のBCGワクチンは集団接種として保健センターで行うが、新型コロナウイルス感染症への対策

は取っているのか。

市長 月1回保健センターで集団接種の機会を設けている。感染症流行により3月から中止していたが、国から予防接種の引き続きの実施と接種機会の確保を図る旨の通知があったことから、医師会と相談の上、1回の来場者を減らし、会場の導線に注意し感染防止策を講じた上で実施を再開している。



▲感染防止対策を講じた予防接種会場

市内事業者の今後の新たな支援策について



正和会
小林 貢 議員



質問 新型コロナウイルス感染症の影響で様々な支援策があるが、支払いに窮する事業者も多い。借入れ資金の返済条件緩和等、市として配慮を要請する予定はないのか。

市長 国から金融機関へ返済猶予等の既往債務の条件変更に対し柔軟に対応するなどの配慮要請がされ、市内金融機関も対応をしているとのことで、市から要請の予定はない。

児童・生徒の学びの場に関する対応について

質問 長期休業中、生徒と教諭・教師との声や顔が見える連絡は行われていたか。本来受けるべき学習教科の補完方法は。また、再開に際し教室の「3密」をどう回避するのか。

教育長 各校で週1回程度課題配付日を設け、一人一人の心身の様子を直接把握。電話やメール等も使い、

全く連絡が取れない児童・生徒はいなかった。また、オンライン形式の学級活動も試行している。学習教科の補完は、令和元年度末までの分は春季休業中に補習等に対応、2年度分は年度中に全て指導する。「3密」の回避は、福生市立学校版感染症予防ガイドラインを改訂。分散登校日を設定するなど、感染予防と児童・生徒の心身状態に最大限配慮する。



▲「3密」を回避するための体育館での授業の様子

臨時休校期間における準要保護世帯の給食費の取扱いについて



公明党
青木 健 議員



質問 臨時休業中の給食費については、国の通知に基づき保護者への返還や生活保護業務における取扱いがされているが、準要保護児童・生徒の給食費は就学援助費として一般財源化され各自治体の判断となり、支給されない問題があり、相当額を別途支給する自治体もある。生活保護世帯に準ずる準要保護世帯では休業中の食費や光熱水費が家計を圧迫

しているとの声があり、支援について党として市に要望を提出している。休業期間中の準要保護世帯の給食費の取扱いはどのようになっているか。

教育長 3月分の給食費は全国学校給食会連合会の補助金を活用、提供中止による食材のキャンセル等を保護者負担とせず、全額を要保護世帯を含む納付済み世帯に返還した。準要保護世帯の取扱いは、3月31日

付で文部科学省から発出された配慮を促す通知の趣旨等を踏まえ、3月分相当を就学援助費等受給世帯に5月下旬に支給している。

質問 休業していた4・5月分の給食費についても同様の措置が取られるべきではないか。

教育部参事 国の通知の趣旨を勘案し、国や都の交付金等の活用を庁内で協議の上、適切に対応したい。



▲新型コロナウイルス感染防止対策のワンプレート給食

特別定額給付金給付事業について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 近隣市町で最も早く受付を開始したが、事業概要と、周知、申請、給付における市の取組を伺う。

市長 事業の実施主体は市区町村で、本年4月27日時点で住民基本台帳に記録されている方に1人当たり10万円、世帯全員の給付金を世帯主に給付する。一つの課での対応は困難と判断し、作業準備・進行をシティセールス推進課に、配慮すべき方

などの対応を各所管課に準備させるなど、一日も早く給付できるよう全庁を挙げて取り組んでいる。

小・中学校でのオンライン学習等の導入と活用について

質問 臨時休業の長期化で必要性がにわかには脚光を浴びている。本市での導入と活用への所見を伺う。

教育長 文部科学省は令和5年度までに義務教育での端末の1人1台

導入や高速大容量通信網を整備するとしていたが、今回の臨時休業長期化に伴いスケジュールを加速、在宅学習に必要な通信環境の整備を目指すとしている。本市もGIGAスクール構想の加速に向け準備を進めている。臨時休業中はオンラインでの学級活動やドリル学習等を実施した。再開後も教員が不安なく臨めるよう研修や委員会等を充実させていく。



▲オンライン授業(学校施設も活用)の様子

予算執行における今後の方針等について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 いわゆるコロナ禍により様々な減税措置が取られ、市税及び税連動交付金収入の大きな減少が懸念され、今後の予算執行については再度検討することはもちろん、その考え方が大変重要だ。市民に対し理論と基準を示し、理解と協力を得る必要がある。予算執行の今後の方針及び考え方と、その基準を伺う。

市長 新たに定めた令和2年度予

算の執行方針は、①今後執行予定の事業は全部または一部の中止や次年度以降への延期を検討、真に必要な事業のみ執行する。既に契約済みの案件も年度内に完了できるか見極め、一時中止や期間変更などを判断する。②市民生活への影響を最小限にとどめるため、経常的な支出は従来どおりとした上で真に必要な支出にとどめ、歳出抑制に努める。③契約差金

等を活用した予算計上外支出は原則禁止し、真に必要な支出は補正予算等の財政上の措置を講ずる。

市民や事業者の方々への影響が大きいため、市民サービス低下を招かないよう細心の注意を払う。なお、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費についてはこの限りではなく、補正予算や予備費等の弾力的運用など積極的に対応していく。



▲令和2年度一般会計予算書と予算説明書

GIGAスクール構想に向けた現状とICT活用について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 子どもたちの1人1台端末と校内LANの整備に向けた施策だが、実現への現状など、ICT(情報通信技術)教育推進について伺う。

教育長 社会生活でICTを日常的に活用する中、学校生活や学習、また教師の働き方改革や特別な配慮が必要な児童・生徒の支援などの側面にもICTが不可欠である。さらに新型コロナウイルス感染拡大によ

る臨時休業が長期化し、整備の加速が急務となった。今後、取組に必要な教育情報セキュリティポリシーの作成を進め、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を実現したい。

家庭におけるICT環境について

質問 教育のオンライン化には各家庭におけるICT環境の整備も必要だ。現状把握と取組について伺う。

教育長 4月に保護者へICT環

境を調査した結果、日中児童・生徒が利用可能なパソコンがない家庭が11%、Wi-Fi環境がない家庭が4%だった。実際にはさらに多くの方に対応が必要と考える。ICTを活用した取組では、オンライン上でドリル学習と動画教材などを用い、学校の指導計画を踏まえた家庭学習を課したり、ウェブ会議システムでオンラインでの学級活動を行った。



▲オンラインによる学級活動の様子

風水害時の避難行動要支援者等への支援について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、災害時に要配慮者や避難行動要支援者へ共助での支援が困難になると考えられる。公助の拡充や自助を促す取組が必要では。

市長 昨年の台風第19号の際、避難行動要支援者の移送車両が不足したので、台数を増やしたい。避難所には簡易ベッドやパーティションのほか消毒液やマスクなど、感染症予

防の物品調達を進める。また、風水害は震災と異なり早い段階の避難が可能なので、親戚や友人の家など避難施設以外の場所へ早期の自主避難を呼びかける。福祉避難所は新たにご協力いただける施設等を調べたい。

保育園や学童クラブ等の対応について

質問 感染防止のため学童クラブや保育園の閉鎖を行う自治体もあったが、本市は登所・登園の自粛をお

願いしたのみであった。子どもの受入れ方針や登所・登園の状況は。

市長 自粛を要しつつ、原則、開所・開園した主な理由は、子どもと過ごす時間が長くなることによる児童虐待等の誘発を懸念したものの、4月以降は3割を切る時期もあり、5月末時点では5割程度の状況。指導員や保育士、保護者の皆様のご努力とご協力に感謝の意を表したい。



▲台風第19号の際の避難所の様子

学びに向かう力 (非認知的な能力) について



正和会
石川 義郎 議員



質問 学びに向かう力 (非認知的な能力) とは何か。今後、新型コロナウイルス問題の中でどう力を発揮するのか。具体的な取組も伺う。

教育長 学びに向かう力 (非認知的な能力) には忍耐力、社会性、思いやり、自尊心等が含まれる。幼児期から育み、小学校教育に円滑に接続することが重要。学校再開後の新たな生活様式の中で学びの質を高め

ていくことにもつながると考える。本市では、6月から都教委や大学と連携し、幼保小の関係者や保護者へのアンケートを実施・分析し、幼児期から継続するプログラムを開発する。

不登校特例校分教室について

質問 教育行政の新たな取組の一つとして4月からスタートした。その後の進捗状況を伺う。

教育長 福生第一中学校「7組」

は11名が入学し開級。生徒が社会的に自立できる力を一層育むよう、一人一人の生徒に応じた独自の教育課程を編成。通常の学級にはない教科も新設するほか、通常の中学校の標準時数から2割程度減らし、ゆとりをもたせ、タブレット端末によるオンライン学習も活用している。個々の状況を十分に把握し、充実した支援となるよう整備したい。



▲福生第一中学校「7組」入級を祝う会の様子

家庭内で起こる危険を回避するための取組について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 外出自粛で家庭が密室化していると推測され、支援を必要とする家庭への支援を途切れさせないことが大切だが、取組について伺う。また、児童虐待やDVの相談窓口の強化にメール等を活用してはどうか。

市長 在宅時間が増え、児童虐待等のリスクの高まりを危惧している。子ども家庭支援センターでは要保護児童や要支援児童の家庭に電話や家

庭訪問で支援をした。メールによる相談対応は、都の児童虐待防止のためのLINE相談、DVやデートDVについては、国の「DV相談プラス」によるメール・チャット相談を紹介している。市では、情報管理の面で課題が多く導入を考えていない。

質問 厚生労働省の調査では3月の児童相談所の虐待対応件数が昨年より12%増加したという。実際に相

談は増えているのか。その原因をどう分析するか。

子ども家庭部長 本市における相談件数は、昨年と比べ3月、4月と大きな増減はなかったが、緊急事態宣言が継続された5月11日以降、警察等からの問合せが少しずつ増えてきたように思われる。自粛生活が長引き、不安やストレスが要因になっていると考える。



▲「体調などによらない子育てハンドブック」と児童虐待防止ステッカー(東京都発行)

米軍横田基地のフッ素化合物による環境汚染について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 都が有機フッ素化合物を調査し、立川の井戸で1340ナノグラム、武蔵村山市で143ナノグラムを検出したが、福生市の数値は。市内全域の井戸や湧水、多摩川の緊急調査が必要。汚染の一因は米軍の泡消火剤での消火訓練と思われる。雨水管の水質調査にフッ素化合物を加えては。また市や市民の水質検査費用の助成を国や都に求めるべきでは。

市長 昨年1月調査の市の数値は1リットル当たり12ナノグラムとのこと。水質調査は毎年市内10か所の井戸や多摩川で実施している。横田基地雨水管のフッ素化合物調査や個人の井戸の水質検査助成及び国や都への要望は予定していない。

米軍機の飛行回数について

質問 2019年度の福生市と瑞穂町の騒音測定結果を合計した飛行回数

は過去15年で最高だった2018年度から3千回以上増えている。市の見解を伺う。

市長 福東地域の誘導灯付近の測定結果は令和元年度が1万4089回で、近年では平成12年度の1万5418回に次ぐ。航空機騒音は基地周辺住民の生活に大きく影響するため、都や周辺市町とも連携を図り、今後も騒音対策に粘り強く取り組む。



▲多摩川の水質調査の様子

PCR検査センターにつなげる発熱外来の設置について



日本共産党
池田 公三 議員



質問 福生市のPCR検査センターで市民が検査を受けるには、かかりつけ医等の診断が必要。安全に対応できる医療機関は少ないのでは。発熱外来の設置が必要ではないか。

市長 東京都では、感染の心配がある場合は、まずかかりつけの医療機関への電話相談を周知している。市内医療機関では入館時の検温や手指消毒、発熱患者への別途対応など

工夫もしており、現状で受入れ態勢は整っていると考える。

小学校の削減案をフィジカルディスタンスの観点で考えることについて

質問 感染症に強いこれからの学校の在り方は、文科省の学校再開指針にもあるように、フィジカルディスタンスを考慮し、1教室当たり20人以下とすべき。福生市の公共施設再配置基本方針は40人学級を前提と

しており、見直すべきではないか。

教育長 現状、身体的距離の確保は各校とも適正に実践している。距離を開けるだけで教育効果が上がるわけではなく、現状でも少人数学習指導やチームティーチング等工夫・改善もしており、20人学級を独自に編成する考えはない。再配置の計画には将来の人口推計を基に、学校児童数は国の基準に従い進めていく。



▲感染症予防に配慮した授業の様子

次回定例会のお知らせ

令和2年第3回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会
9月1日(火)～4日(金)・9月29日(火)
- ◆決算審査特別委員会 午前10時開会
9月8日(火)～11日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会
9月15日(火)～17日(木)

◎多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映予定です。チャンネルは広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせします。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。
ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局
☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用ください! 福生市議会インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、市議会のインターネット中継を視聴いただけます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。



福生市議会
インターネット中継

- ◆配信内容
本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法
福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案								
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第24号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	福生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	令和2年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第34号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	福生市立学校施設等整備基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	福生市新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金基金条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	福生市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号~45号	福生市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
委員会提出議案								
委員会提出議案第1号	小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種と同等に位置付けることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出議案								
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福生市一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第46号	令和2年度福生市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
委員会提出議案								
委員会提出議案第2号	横田基地の基地機能強化に関する決議	○	○	○	○	○	○	可決

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択

○小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種として位置付けることを国へ求める意見書提出に関する陳情書(第2・1号)

陳情

再接種により副反応や後遺症など健康被害が出た場合、国が持つ研究データやワクチンのエビデンスをもとに、定期接種と同等の健康被害救済補償が受けられるようにすること。


(提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

《要望事項》

化学療法や移植、免疫療法などで予防接種の効果が弱くなったり、失われた子どもに対し再接種する費用の助成を定期接種と同等の位置付けとすように早期実施すること。

委員会提出議案第1号「小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種と同等に位置付けることを求める意見書(要旨)」

※全文をホームページに掲載



先般、福生市議会は、令和2年7月2日の立川市内へのパラシュート落下事故を受けて、7月6日に落下の原因究明と安全確保を要請し、再発防止策を講ずるまでには同様の訓練は行わない旨を要請した。

しかるに7月7日、横田基地におけるパラシュート降下訓練中に、福生市牛浜58-1にフィン(足ひれ)が落下する事故が発生した。この事故については、当該落下物を市民が拾得したことを契機に事故が明らかになったもので、先の要請を行った翌日に発生しており、誠に遺憾であるとし、7月14日に抗議書を議決、発送したところである。

これらの度重なる事故は、市民生活の不安を損なうものであると同時に、これまでの築き上げてきた当市との信頼関係を水泡に帰すもので、甚だ遺憾であり、これまでの要請や抗議が届き届いていない無念さを感じる。

福生市は、旧福生町から現在に至るまで75年の間、基地を抱えた行政運営を余儀なくされてきた。近年では、平成17年に日米安全保障協議委員会(2+2)の中間報告を経て、平成18年には「再編実施のための日米のロードマップ」が発表され、在日米軍及び関連する自衛隊の再編に向けた計画が示された。そして、平成24年より航空自衛隊横田基地の運用が開始されている。横田基地は、米軍の司令部機能と輸送中継機能を有する基地から、航空自衛隊航空総隊司令部と在日米軍司令部、第5空軍司令部との併置により日米共同統合運用調整所が設置され、日米双方の司令部組織の連携や相互運用性の向上が図られ、日本の防空及びミサイル防衛の機能を併せ持つ、日米共同の最重要施設へと態様が変化し、市民の不安

は増している。さらに、平成27年5月にC-V-22オスプレイの横田基地への配備が突然発表された。平成33年(令和3年)までにC-V-22オスプレイ10機を横田基地に配備する計画が示された。これに對して、平成27年6月に当該計画の再検討を強く求める決議を行ったにもかかわらず、平成30年10月に5機のC-V-22オスプレイが配備され、今後数年間で段階的に当機、計10機と約450人の人員を配備する計画となっている。この間に平成28年12月の沖繩県におけるM-V-22オスプレイの不時着水をはじめ、国内外での事故や緊急着陸などが続き、市民の不安が拭い去れない中、冒頭に述べたパラシュート落下事故、そして今回のフィンの落下事故が生じた。

福生市議会は、一貫してこれ以上の基地の機能強化は容認できないと表明しているところである。現下の横田基地の状況は、機能強化が更に一層進展し、昼間・夜間における航空機の離発着訓練や人員降下訓練の状況からも明らかに態様の変化が進んでおり、今般の落下物事故も基地機能強化に伴うものと言わざるを得ない。これ以上、福生市民は基地が存在することに伴うリスクを受容することはできない。

よって、福生市議会は、米軍及び国に対し次の事項を強く求める。

1 これ以上、基地機能強化をしないこと。

2 これ以上、福生市民に基地が存在することに伴うリスクを受容させることがないようすること。

以上、決議する。

令和2年7月27日
福生市議会

横田基地の基地機能強化に関する決議

横田基地の基地機能強化に関する決議

可決された案件(要旨)

●専決処分の承認を求め
ることについて(福生
市税賦課徴収条例等
の一部を改正する条例)

合などが生じたことから
条例改正の必要が生じ、
専決処分したため、承認
を求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(福生
市中小企業振興資金融
資条例の一部を改正す
る条例)

新型コロナウイルス感
染症の拡大により影響を
受けている市内中小企業
者に対し、一日も早く運
転資金不足解消の一助と
するために条例改正の必
要が生じ、専決処分した
ため、承認を求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(福生
市都市計画税条例の一
部を改正する条例)

地方税法の一部を改正
する法律の公布に伴い条
例改正の必要が生じ、専
決処分したため、承認を
求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(福生
市国民健康保険条例の
一部を改正する条例)

地方税法の一部を改正
する法律の公布に伴い条
例改正の必要が生じ、専
決処分したため、承認を
求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症の拡大により影響を
受けている市内中小企業
者に対し、一日も早く運
転資金不足解消の一助と
するために条例改正の必
要が生じ、専決処分した
ため、承認を求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症対策として、特別定
額給付金給付事業及び子
育て世帯への臨時特別給
付金給付事業などを実施
するため、一日も早く補

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症対策として、特別定
額給付金給付事業及び子
育て世帯への臨時特別給
付金給付事業などを実施
するため、一日も早く補

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症対策として、特別定
額給付金給付事業及び子
育て世帯への臨時特別給
付金給付事業などを実施
するため、一日も早く補

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症対策として、特別定
額給付金給付事業及び子
育て世帯への臨時特別給
付金給付事業などを実施
するため、一日も早く補

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市一般会計
補正予算(第1号))

新型コロナウイルス感
染症対策として、特別定
額給付金給付事業及び子
育て世帯への臨時特別給
付金給付事業などを実施
するため、一日も早く補

正予算を成立させる必要
があり、専決処分したた
め、承認を求めるもの。

●専決処分の承認を求め
ることについて(令和
2年度福生市国民健康
保険特別会計補正予算
(第1号))

福生市国民健康保険の
被保険者で被用者の方が
新型コロナウイルスに感
染した場合等に休みやす
い環境を整備するために
は、速やかな傷病手当金
の支給が必要ことから、
一日も早く補正予算を成
立させる必要があり専決
処分したため、承認を求
めるもの。歳入歳出予算
の総額にそれぞれ280
万円を追加し、歳入歳出
それぞれ67億393万3
千円とする。

●福生市市税賦課徴収条例
の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に
伴い、個人の市民税の非
課税の範囲に関する規定
等を整備するほか、新型
コロナウイルス感染症等
に係る徴収猶予の特例手
続等に関する規定等を整
備するもの。

●福生市市税賦課徴収条例
の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に
伴い、引用する規定を整
備するもの。

●福生市学童クラブの設
備及び運営に関する基
準を定める条例の一部
を改正する条例

放課後児童健全育成事
業の設備及び運営に関す
る基準の一部改正に伴い、
学童クラブ支援員の認定
資格研修に関する規定を
整備するもの。

●福生市家庭的保育事業
等の設備及び運営に関
する基準を定める条例
の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設
備及び運営に関する基準
の一部改正に伴い、家庭
的保育事業者等による連
携施設の確保の特例に関
する規定及び住宅訪問型
保育の提供に関する規定
を整備するもの。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第2号)

介護保険特別会計繰出
金の増額、学校支援地域
組織事業の増額などを実
施するに当たり、歳入歳
出予算の総額にそれぞれ
3304万6千円を追加
し、歳入歳出それぞれ3
06億8686万7千円
とするもの。

●令和2年度福生市介護
保険特別会計補正予算
(第1号)

消費税率引上げに合わ
せた低所得者の保険料軽
減強化が令和2年度に完
全実施となることに伴い、
減額した保険料と同額を
繰入金に振り替えるもの。

●福生市表彰条例に基づ
く一般表彰について

スポーツ推進委員とし
て貢献された飯田忍氏、
社会福祉協力委員として

●福生市市立学校施設等整
備基金条例の一部を改
正する条例

小学校及び中学校I・C
T推進事業の経費に対し、
学校施設等整備基金を充
当するに当たり、基金の
処分対象に関する規定を
整備するもの。

●福生市立学校施設等整
備基金条例の一部を改
正する条例

小学校及び中学校I・C
T推進事業の経費に対し、
学校施設等整備基金を充
当するに当たり、基金の
処分対象に関する規定を
整備するもの。

●福生市新型コロナウイルス
感染症緊急対策特
別交付金基金条例

東京都町村新型コロナ
ウイルス感染症緊急対
策特別交付金を財源とす
る新型コロナウイルス感
染症対策に資する事業の
経費に充当するための基
金を設置するに当たり、
条例を制定するもの。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第3号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症への追加対策
に資する事業のほか、小
・中学校臨時休業の影響
に伴う福生第三小学校防
音機能復旧(復機)事業
の令和3年度への延期に
当たり、歳入歳出予算の
補正及び繰越明許費設定
の必要が生じたため、歳
入歳出予算の総額にそれ
ぞれ3億9043万4千
円を追加し、歳入歳出そ
れぞれ310億7730
万1千円とする。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第4号)

事業継続応援金給付事
業の申請増加に伴い、遅
滞ない支給につなげるよ
う一日も早く補正予算を
成立させる必要があり、
専決処分したため、承認
を求めるもの。歳入歳出
予算の総額にそれぞれ7
514万5千円を追加し、
歳入歳出それぞれ311
億5244万6千円とす
る。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)

国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。



▲4月に開設された臨時さくらクラブ

●福生市新型コロナウイルス
感染症緊急対策特
別交付金基金条例
東京都町村新型コロナ
ウイルス感染症緊急対
策特別交付金を財源とす
る新型コロナウイルス感
染症対策に資する事業の
経費に充当するための基
金を設置するに当たり、
条例を制定するもの。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第3号)
国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症への追加対策
に資する事業のほか、小
・中学校臨時休業の影響
に伴う福生第三小学校防
音機能復旧(復機)事業
の令和3年度への延期に
当たり、歳入歳出予算の
補正及び繰越明許費設定
の必要が生じたため、歳
入歳出予算の総額にそれ
ぞれ3億9043万4千
円を追加し、歳入歳出そ
れぞれ310億7730
万1千円とする。

●福生市教育委員会委員
の任命について
任期満了に伴い、引き
続き野口哲也氏を教育委
員会委員として再任する
ことに同意するもの。

●福生市農業委員会委員
の任命について
福生市農業委員会委員
として木下義彦氏、小山
明男氏、野崎賢吾氏、古
谷清一氏、細谷善道氏、
村野昭氏、吉澤英治氏の
7名を任命することに同
意するもの。

●令和2年度福生市一般
会計補正予算(第5号)
国や東京都の交付金を
活用した新型コロナウイルス
感染症に対する子育て
世帯及び高齢者向け支
援策、保育所・学校等の
衛生対策、避難所におけ
る感染症予防対策の実施
に当たり、歳入歳出予算
の総額にそれぞれ4億8
951万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ316
億4195万7千円とす
る。市内事業者で買い物
等をした子育て世帯に対
し、子ども一人につき1
万5千円をキャッシュバ
ックする「子育て世帯応
援キャッシュバック事
業」、65歳以上の高齢者
に心身の健康等に寄与す
る3千円相当のカタログ
ギフトを配布する「高齢
者感染症対策事業」など。
※意見書及び決議は5面
に掲載しています。

新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算が可決・承認されました

(主な内容)

■一般会計補正予算（第1号）

(1) 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（6,354万6千円：子ども育成課）

児童手当を受給する世帯に対し、対象児童一人につき1万円を給付します。対象児童は約6,050人。

(2) 子育て世代包括支援センター事業（610万1千円：健康課）

妊婦一人当たり、妊婦健康診査受診の際の移動に利用できるタクシーギフト券を3千円分、感染防止のために必要な物品等を購入するための商品券を7千円分、合計1万円分を配布します。対象者は約600人。

(3) 特別定額給付金給付事業（57億9,990万5千円：シティセールス推進課）

基準日（令和2年4月27日）において、住民基本台帳に記録されている市民（57,340人、30,321世帯）に対し、一人につき10万円を給付します。

■一般会計補正予算（第3号）

(1) 生活困窮者自立支援事業（1,978万円：社会福祉課）

相談体制の強化を図るとともに、住居確保給付金の増額を行い、生活困窮者に対する総合的な支援を実施します。

(2) 障害児通所給付事業（415万2千円：障害福祉課）

特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用時間が増加したことから、障害児通所給付費を増額します。

(3) ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業（3,633万2千円：子ども育成課）市独自

児童育成手当の受給者に対して、対象児童一人につき3万円を臨時に給付します。対象児童は約1,200人。

(4) 予防接種事業（229万6千円：健康課）市独自

B C G 予防接種における感染リスクを低減させるため、実施回数を増やし、1回当たりの接種者数を減らします。

(5) 事業継続応援金給付事業（7,514万6千円：シティセールス推進課）市独自

国・東京都・福生市等からの各種支援や融資等を受けた、市内に事務所・店舗等を有する中小企業者及び個人事業主に対して、1事業者につき10万円を給付します。

(6) 災害対策事業（1,525万6千円：安全安心まちづくり課）市独自

災害時における感染症拡大を防止するため、指定避難所の衛生用品等の備蓄を強化します。

(7) 小・中学校 ICT 推進事業（1億4,974万9千円：教育指導課）

G I G A スクール構想に基づく、児童生徒1人1台端末の早期実現を図り、学校や家庭におけるICTの活用により、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を整備します。（小学校2,014台、中学校1,141台）

■一般会計補正予算（第4号）

事業継続応援金給付事業の申請増加に伴う増額分（7,514万5千円：シティセールス推進課）

■一般会計補正予算（第5号）

(1) 庁舎管理事務（168万7千円：契約管財課）市独自

本庁舎をはじめとした公共施設の窓口等に飛沫感染対策のためのパネルを設置します。

(2) 生活困窮者自立支援事業（733万1千円：社会福祉課）

相談体制の強化や住居確保給付金の申請者増に対応するため、支援員を増員します。

(3) 高齢者感染症対策事業（6,600万円：介護福祉課）市独自

65歳以上の高齢者に心身の健康等に寄与する3,000円相当のカタログギフトを配布するとともに、申込みの無い方に対し、地域包括支援センターと連携し、安否確認やギフトの申込み支援を実施します。対象者は約15,200人。

(4) 新型コロナウイルス感染症緊急支援事業補助金（2,000万円：子ども育成課）

保育所等が感染防止のための衛生用品や備品等を購入するための費用（上限：50万円（延長保育実施施設は100万円））を補助します。

(5) ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業（7,961万4千円：子ども育成課）

児童扶養手当受給世帯等に対し、1世帯当たり5万円、第二子以降一人につき3万円を加算して臨時特別給付金を給付するとともに、減収世帯には更に5万円を追加給付します。対象は約770世帯。

(6) ウェルカム赤ちゃん臨時特別給付金給付事業（3,632万2千円：子ども育成課）市独自

特別定額給付金の対象外となっている令和2年4月28日から令和3年4月1日に生まれた子どもに対し、一人につき10万円の臨時特別給付金を給付します。対象児童は約400人。

(7) 子育て世帯応援キャッシュバック事業（1億2,253万6千円：子ども育成課）市独自

平成14年4月2日から令和2年8月1日に生まれた子どもがいる世帯を対象に、子ども一人につき1万5千円を上限に市内での買い物や食事等に対し、キャッシュバックを実施します。対象者は約7,300人（4,600世帯）。

(8) 学童クラブ事業（1,457万9千円：子ども育成課）

学童クラブにおいて、感染防止のための衛生環境を整備します。

(9) 感染症対策事業（618万7千円：健康課）市独自

公共施設の管理や市民サービスに必要な衛生用品等を一括で購入し、整備します。

(10) 災害対策事業（5,007万8千円：安全安心まちづくり課）市独自

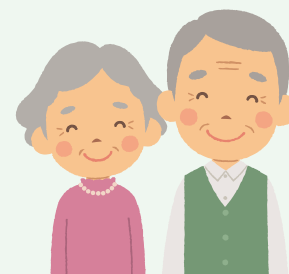
避難所の感染症予防対策として、段ボールベッドや簡易間仕切り等を備蓄します。また、今後の感染症対策としてマスク等の衛生用品等を備蓄します。

(11) 小・中学校教育環境整備支援事業等（小学校2,033万8千円、中学校937万7千円：教育支援課）

小・中学校の再開に伴い、感染症対策及び学習保障に係る消耗品等を整備します。

(12) 学校給食センター管理事務（2,395万6千円：教育支援課）市独自

新型コロナウイルス感染症対策に資する衛生用品等を保管する倉庫を確保するため、旧第二学校給食センターを改修します。



総務文教委員会 現地視察

6月5日、人工芝グラウンド等が整備されリニューアルオープンした市営競技場を視察。まず担当職員から改めて工事、施設概要等の説明を求め人工芝の敷設等の確認を行ってまいりました。

公設グラウンドとして西多摩地域で初めて人工芝化した当競技場は、陸上競技(100m×6コースの直送路(全天候型舗装)、1周424メートルのジョギング走路(ゴムチップ舗装))、サッカー、アルティメット、ソフトボールなど各種競技が行えます。

また、熱中症対策のためのミスト噴霧装置、夜間照明を整備。付帯設備としては駐車場等の

充実が図られました。既設44台分に加え新たに30台分、多目的スペースも含めると92台分の駐車が可能。また駐輪場も54台分を新設。使用料は増額となったものの、更なる利用率拡大が見込まれると感じました。

さらに管理棟の改修工事も行われており、室内や外壁等の確認を行いました。

事務室、主催者控室、救護室、会議室、男女更衣室、授乳室、男女シャワー室(各5ブースうち車いす対応各1ブース)、トイレ等、バリアフリー化、衛生管理の観点からも改善が図られており、利用者の利便性拡大に努めたことを確認しました。

さて、当競技場は、福生市では初めてとなる

ネーミングライツ(命名権)協定が締結され、令和2年4月から市営競技場の愛称は『ネッツ多摩S&Dフィールド』となっています。期間は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間、命名権料(年額)100万円。

西多摩地域の新たなスポーツ文化の拠点としてより親しまれ市民の交流の場となるよう期待するとともに、

更なる利用率の向上に向け議会としても支援していきたいと思えます。



▲ネッツ多摩S&Dフィールドを現地視察

横田基地対策特別委員会

6月12日に委員会が開催され4件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 令和元年度防衛補助事業等実施状況について

障害防止工事補助事業は、小学校の防音機能復旧(復機)事業など3事業を実施し、事業費3億2048万9千円、補助額1億99万4千円であった。

2 令和3年度防衛補助事業概要要望について

令和3年度防衛補助事業概要要望では、小中学校防音機能復旧(復機)事業6事業など全8事業を要望し、補助額の合計は、令和4年度の国庫債務負担行為分を含め7億1532万2千円を見込んでいる。

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動について、7月21日に実施することを決定した。

要望項目は、基地運用の安全対策の徹底をはじめ、騒音防止対策の推進、市が概要要望している令和3年度防衛補助事業の採択など、全8項目である。

4 横田基地に関する情報等について

①4月28日及び5月7日に、米軍の段階的移動制限計画の一環で、派遣前の経過観察のために横田基地に滞在し隔離を受けていた他基地所属の米海軍兵とそのサポートスタッフ少数名について、新型コロナウイルスの感染者が確認された。なお、米海軍兵及びサポートスタッフは、既に全員が横田基地を発っている。



▲防衛省本省へ要請(7月21日)

7月6日に臨時委員会を開催し、7月2日に立川市内で発生した人員降下訓練中におけるパラシュートの落下事故について、在日米軍等に対し、安全確保及び再発防止等を文書により要請することを決定しました。

7月14日に臨時委員会を開催し、7月7日に市営牛浜駅西口自転車駐車場付近で発生した人員降下訓練中におけるフィン(足ヒレ)の落下事故について、原因究明、安全対策の徹底及び実効性の

ある再発防止策等を求め、在日米軍等に対し、文書により強く抗議することを決定しました。(要請文及び抗議文をホームページに掲載)

7月27日に臨時委員会を開催し、「横田基地の基地機能強化に関する決議」を委員会提出議案として提出することを決定しました。(5面に掲載)

当初の予定では、今年の夏に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されていましたが、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっていることにより、東京2020オリンピック・パラリンピックのみならず、多くの催しが延期、中止となっております。福生市議会としては、3月議会同様、6月議会においても大幅な時間短縮に努めました。3月議会で中止とした一般質問は、各議員の持ち時間を60分から30分に短縮して行い、陳情以外の議案は委員会付託せず、すべて本会議即決で行ったことで大幅な時間短縮を図りました。

6月議会では、一般会計補正予算を審議し、事業継続応援金給付事業、ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業、小中学校ICT推進事業などを可決しました。

また、7月27日には臨時会が開催され、追加の一般会計補正予算を審議しました。高齢者感染症対策事業(カテゴリーギフト配布)、子育て世帯応援キャッシュバック事業などを可決しました。

引き続き市民の暮らしに役立つ市政、市議会として邁進していきます。

議会改革に関する協議会から ~新たな取り組み~

『福生市議会災害対応方針』を策定しました

福生市議会では、今後、福生市において大地震等の大規模災害が発生した際に、災害対応方針に基づき、迅速かつ適切な対応を図ります。

~議員の役割(概要)~

地域における活動

参集指示があるまでは、地域において人命救助等の救援活動に積極的に参加し、市民の安全確保と応急対応に努めるなど、地域における活動に従事します。

連絡体制の確保

議会からの情報提供や参集指示に速やかに対応できるよう、連絡体制を確保します。

災害情報の収集・報告

地域活動等により、市が集めることができない地域の災害情報などを収集し、福生市議会議長を通して災害対策本部に報告します。

災害状況の把握

災害状況の把握に努め、今後の防災・減災対策に生かすことで、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることにつなげます。

訓練等の実施

災害発生時に適切な行動をとれるよう、日頃より災害対応に関する知識の習得や災害に備えた準備及び訓練に努めます。

SNSで議会の情報を発信しています!

Facebook



Twitter



今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する様々な事項について協議していきます。

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に係る福生市議会の対応

令和2年第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算など重要事項の審議を最優先とし、次のとおり開催しました。

感染症拡大防止のため、日程を短縮しました

- ・会期を3日間に短縮し、一般質問の前に議案審議を行いました
- ・議案を本会議即決としました(陳情のみ委員会付託)
- ・一般質問の上限時間を短縮しました(60分→30分)

感染症予防策を講じました

- ・傍聴をご遠慮いただきました
- ・発言中のマスク着用を許可しました
- ・各階に消毒液を設置しました
- ・職員の出席を最小限にとどめました
- ・議場及び委員会室の窓や出入口を開放し換気に努めました



7月27日に臨時委員会を開催し、「横田基地の基地機能強化に関する決議」を委員会提出議案として提出することを決定しました。(5面に掲載)

編集後記

当初の予定では、今年の夏に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されていましたが、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっていることにより、東京2020オリンピック・パラリンピックのみならず、多くの催しが延期、中止となっております。福生市議会としては、3月議会同様、6月議会においても大幅な時間短縮に努めました。3月議会で中止とした一般質問は、各議員の持ち時間を60分から30分に短縮して行い、陳情以外の議案は委員会付託せず、すべて本会議即決で行ったことで大幅な時間短縮を図りました。

6月議会では、一般会計補正予算を審議し、事業継続応援金給付事業、ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業、小中学校ICT推進事業などを可決しました。また、7月27日には臨時会が開催され、追加の一般会計補正予算を審議しました。高齢者感染症対策事業(カテゴリーギフト配布)、子育て世帯応援キャッシュバック事業などを可決しました。引き続き市民の暮らしに役立つ市政、市議会として邁進していきます。